

## 野草観察

### 仲間の花 勢揃いー4

前回に続いてアブラナ科の花 12 種 (No.45~56)、及びアマ科の花 2 種 (No.57・58) を紹介  
します。

45. オオアラセイトウ (シヨカッサイ、ムラサキハナナ、ハナダイコン)

アブラナ科オオアラセイトウ属、花期：3~5 月、花径：3 cm、草丈：30~80m、原産  
地：中国 (帰化植物)

46. エゾスズシロモドキ

アブラナ科エゾスズシロモドキ属、花期：3~6 月、花径：1 cm、草丈：20~60 cm、  
原産地：ヨーロッパ (帰化植物)



47. ゴウダソウ

アブラナ科ゴウダソウ属、花期：5~10 月、花径：2 cm、草丈：40~90 cm、原産地：  
ヨーロッパ (帰化植物)

48. セイヨウワサビ

アブラナ科セイヨウワサビ属、花期：4~5 月、花径：1 cm、草丈：0.6~1.3m、原産地：  
ヨーロッパ (帰化植物)

明治初年に導入され、西洋料理でローストビーフなどの付け合せやソースの具材として、  
また「粉わさび」や「チューブタイプ」の加工わさびの原料としても使われていますが、  
野生化しています。以前は、長野県、埼玉県、北海道で栽培されていましたが、現在で  
は北海道 (原産地であるヨーロッパの気候に似ている?) が主な産地になっています。



49. イヌカキネガラシ

アブラナ科カキネガラシ属、花期：4～7月、花径：1 cm、草丈：50～90 cm、原産地：地中海沿岸（帰化植物）

50. ホソエガラシ

アブラナ科カキネガラシ属、花期：1～6月、花径：4 mm、草丈：60 cm、原産地：南ヨーロッパ（帰化植物）

先月（1月）下旬ころから、道端などでよく見かけるようになりました。



51. キレハイヌガラシ

アブラナ科イヌガラシ属、花期：5～9月、花径：5 mm、草丈：10～60 cm、原産地：ヨーロッパ（帰化植物）

52. ミミイヌガラシ

アブラナ科イヌガラシ属、花期：4～6月、花径：5～7 mm、草丈：30～90 cm、原産地：ヨーロッパ（帰化植物）



53. オランダガラシ

アブラナ科オランダガラシ属、花期：4～6月、花径：5mm、草丈：30～50cm、原産地：ヨーロッパ（帰化植物）

明治初年に在留外国人用の野菜として導入されました。クレソン、ミズガラシなどの名で栽培され、香辛野菜として利用されています。根や茎は水中又は泥の中にありますが、茎は中空で水に浮かんで伸びながら発根し、繁殖力が強く各地で野生化して大きな群落を形成しています。

54. ミチタネツケバナ

アブラナ科タネツケバナ属、花期：2～4月、花径：7mm、草丈：10～40cm、原産地：ヨーロッパ～東アジア（帰化植物）

タネツケバナ（在来種、紹介できる全体写真がありません。）とよく似ています。



※ミチタネツケバナとタネツケバナの花



ミチタネツケバナの花(左)は平開することなくやや立ち上がったような状態で咲き、雄しべは通常4本あります。  
タネツケバナの花(右)は広がって咲き、雄しべは6本あります。

55. キバナスズシロ

アブラナ科キバナスズシロ属、花期：2～4月、花径：2.5 cm、草丈：1～1.5m、原産地：地中海沿岸（帰化植物）

56. クジラグサ

アブラナ科クジラグサ属、花期：4～6月、花径：5 mm、草丈：1m、原産地：ユーラシア（帰化植物）



57. アマ

アマ科アマ属、花期：4～6月、花径：2 cm、草丈：0.6～1.2m、原産地：中央アジア（帰化植物）

58. キバナノマツバニンジン

アマ科アマ属、花期：6～8月、花径：8 mm、草丈：80 cm、原産地：北アメリカ（帰化植物）

